農政学特論演習Ⅰ（２単位）

担当者氏名　五條　満義・堀部　篤

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

本科目は、農業経済学を専攻する大学院生が、社会科学的視点で農業農村現場の事象を捉える能力を高めるとともに、農政学をめぐる基本課題や、わが国農政に関する展開過程と今日的な研究上の論点を、体系的に理解・把握することを到達目標とする。受講生各自の主体的な考察と討論への参画を促しつつ、演習を進めるものとする。特に、本科目では①農政上の政策分類、②わが国農政の展開過程とそれをめぐる成果や限界を検証する。加えて,③農政課題を踏まえた農村調査の実施に関する手法の修得に努めるものとする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

農業　経済　政策　経営
地域

◆授業の進行等について

	テーマ	内　容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	総論	受講生の農政上の関心と農政学の領域	各自の農政上の関心事を１項目以上整理
2	農政の分類と特性１	生産政策、農地・構造政策、経営政策	同上
3	農政の分類と特性２	所得政策、価格政策、流通政策	同上
4	農政の分類と特性３	農政をめぐる関係機関・団体の機能	同上
5	農政の展開過程１	戦後農政の時期区分と各時期の特徴	関連統計を１項目整理
6	農政の展開過程２	農地改革と自作農主義	同上
7	農政の展開過程３	農業基本法の展開・成果と限界性	同上
8	農政の展開過程４	農業の構造改革論議、コメの生産調整	同上
9	農政の展開過程５	新農政プランと経営政策の展開	同上
10	農政の展開過程６	食料・農業・農村基本法と基本計画	同上
11	農政の展開過程７	直面する農政課題、農地制度問題等	各自の問題意識を整理
12	農政課題と実証研究１	農業農村に関する実態調査の手法	同上
13	農政課題と実証研究２	調査票づくりの具体化	同上
14	農政課題と実証研究３	現地調査の取り組み方・都市農業を課題に	調査項目 10 程度整理
15	まとめ	キーワードの復習と総合討論	各自の総括をまとめる（各回 2～3 時間程度）

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

随時プリントを配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

食料環境経済学を学ぶ　東京農業大学食料環境経済学科編　　筑波書房

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業時の討論への参画状況、小テスト、レポート等で総合的に評価する。

◆オフィスアワー

毎週金曜日３時限に、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

授業で随時指示する。